

令和3年5月26日

岐阜県立高山工業高等学校  
育友会会員 様

岐阜県立高山工業高等学校  
育友会会長 溝下 学  
校 長 村田 和宏

令和3年度育友会定期総会（書面表決）ご報告

新緑の候 皆様におかれましてはますますのご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は、育友会活動に対しましてご理解・ご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、5月7日に依頼しました令和3年度育友会総会について、下記の通り5月18日をもって表決したことをご報告いたします。

記

【総会成立の資格確認】

育友会員数 339名

提出数 312名

◎高山工業高等学校育友会規約第15条の規定に基づき、過半数以上の書面表決書の提出がありましたので書面による総会は成立しました。

【議案】

第1号議案	令和2年度 事業報告について	賛成 312名	反対 0名
第2号議案	令和2年度 決算報告及び会計監査報告について	賛成 311名	反対 1名
第3号議案	令和3年度 育友会実行委員 及び部活動後援会役員（案）について	賛成 312名	反対 0名
第4号議案	令和3年度 事業計画（案）について	賛成 312名	反対 0名
第5号議案	令和3年度 予算（案）について	賛成 311名	反対 1名
第6号議案	育友会・部活動後援会規約改定（案）について	賛成 312名	反対 0名

【結果】

全ての議案について、過半数の賛成をもって可決されましたのでご報告いたします。

なお、会計に関する補足説明を裏面に記載しております。

以上

## 育友会・部活動後援会の予算作成について（補足説明）

育友会、部活動後援会会計の収支残額が多いことや、会費の見直しや予算作成に関して補足説明させていただきます。

総生徒数の減少（平成30年度423人、令和元年度409人、令和2年度363人、令和3年度340人）が急激に進んでいます。

まず、育友会の状況ですが、生徒数の減少による影響から年あたりの会費が、令和元年度で約10万円、2年度で40万円、3年度で20万円と対前年比で減少しており、平成30年度と比較すると、令和3年度は年間会費が70万円ほど少なくなっております。

育友会が管理する会計には、生徒数に関係なくほぼ通年同額程度の経費がかかる図書代や除雪車の維持費、広報のための印刷代等があります。また過去に購入した除雪車等の高価な物品は、更新時の費用が過大となるものもあり、それらは県への寄贈等により育友会会計から切り離すように県に働きかけています。また現物の物品確認調査に取り掛かっており、不要備品の廃棄や県への譲渡を進め多額の修繕費用が発生しないように整理を進めています。

令和2年度につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の徹底に伴い、卒業作品展における育友会行事、PTフォーラム等の行事が延期から中止となったため、事業費49万円の全額が不執行となる特殊な事情により、繰越金が増加したことによるものです。

今後は、除雪車等の更新費用を負担しないで良い形で見直し、単年度に購入費相当の支出が発生しないよう、単年度支出にあった額、また将来の更なる生徒数減少を見据えて必要額の積算と、移行期の収入減少に対する繰越金充当等も検討しながら、事業の見直しと会費額の見直しを図りたいと考えています。

次に部活動後援会費につきましては、生徒数の減少に伴い、年間会費が令和元年度約30万円、2年度100万円、3年度50万円と対前年度比で減少しています。平成30年度と比較すると令和3年度は、約180万円ほど減少しています。

部活動後援会費は、平成27年度に会計が破綻したという過去の経緯から、見直しを行い旅費額を実際より大幅に減額した形で執行することに改めましたが、このことにより、引率教員によるガソリン代等の負担が増加することとなっています。

また、部活動後援会として過去に購入した高額な防球ネットや、各部活動のゴールや支柱等の更新時に多額の費用が必要となるものがあります。

現在、収入が大幅に減少するなか、将来の生徒減少を見込み、適正な旅費額への見直しと適正な助成額の算定、部活動に伴う器具の更新費を減価償却費等で算出し、別途備品購入会計を新設するなどの見直しを進めており、必要な会費額の算出と新体制への移行期の収入減少に対する繰越金充当等も検討したいと考えています。

令和2年度から、会費の適正化のため役員会に備品の整理状況や県との交渉状況も報告してきましたが、今後も役員会や総会で進捗状況を報告し、会費見直し作業を進め、会員の皆さんへのご理解が得られるよう努めてまいります。